

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

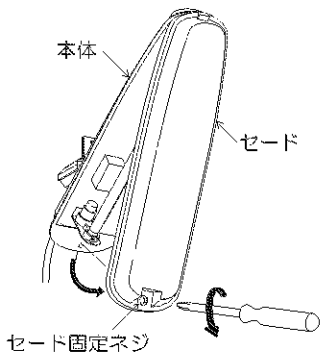
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 セードを取外す

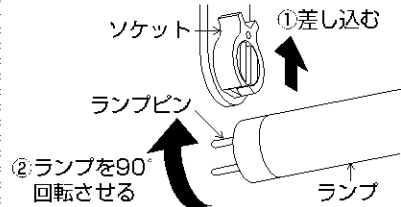
セード固定ネジをゆるめて取外す。



3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実にに行なってください。落下によるけがの原因になります。



ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。
※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 セードを取付ける

■施工手順5を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■自動点滅器交換について

△注意 自動点滅器交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。昼間でも器具が点灯し続ける場合は、自動点滅器が確実に取付いているか確認してください。取付けが正しければ自動点滅器の寿命または故障です。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・蛍光ランプの両端が黒ずみしたら交換時期です。長い間使用していると知らないうちに暗くなってきました。定期的に交換しましょう。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

型番 AU-36667

お客様へ

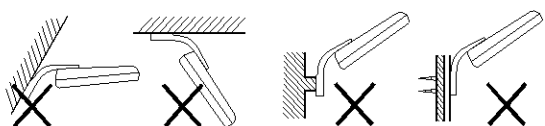
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

! 警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
! 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	! 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	! 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。		
! 禁止	このような場所には取付けしないでください。この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井などには取付けできません。また、別売の取付金具を使用しても天井・傾斜天井などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	! アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
	 傾斜天井 天井 不安定な場所 補強のない場所	! 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。		

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	！ 厳守	この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ず取付ける地域の周波数と器具の周波数があっているか確認してください。 →間違えて使用すると火災の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ	使用点灯管
AU-36667	AC100V	50または60Hz	22W	FL 20SS/18×1	FG-1E×1

※自動点滅器を使用している場合、約0.7Wの電力を消費します。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

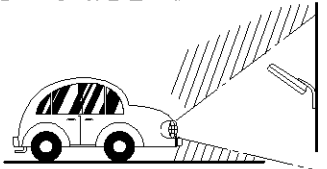
2 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

3 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

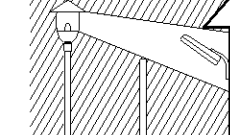
車のヘッドライトなど、強い光が直接自動点滅器にあたる場所には取付けないでください。



昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。気象条件によりバラツキがあります。



夜間でも明るい場所(隣地や他の照明が自動点滅器にあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。

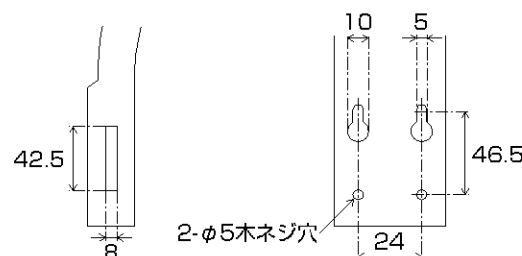


4 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

5 取付ピッチ

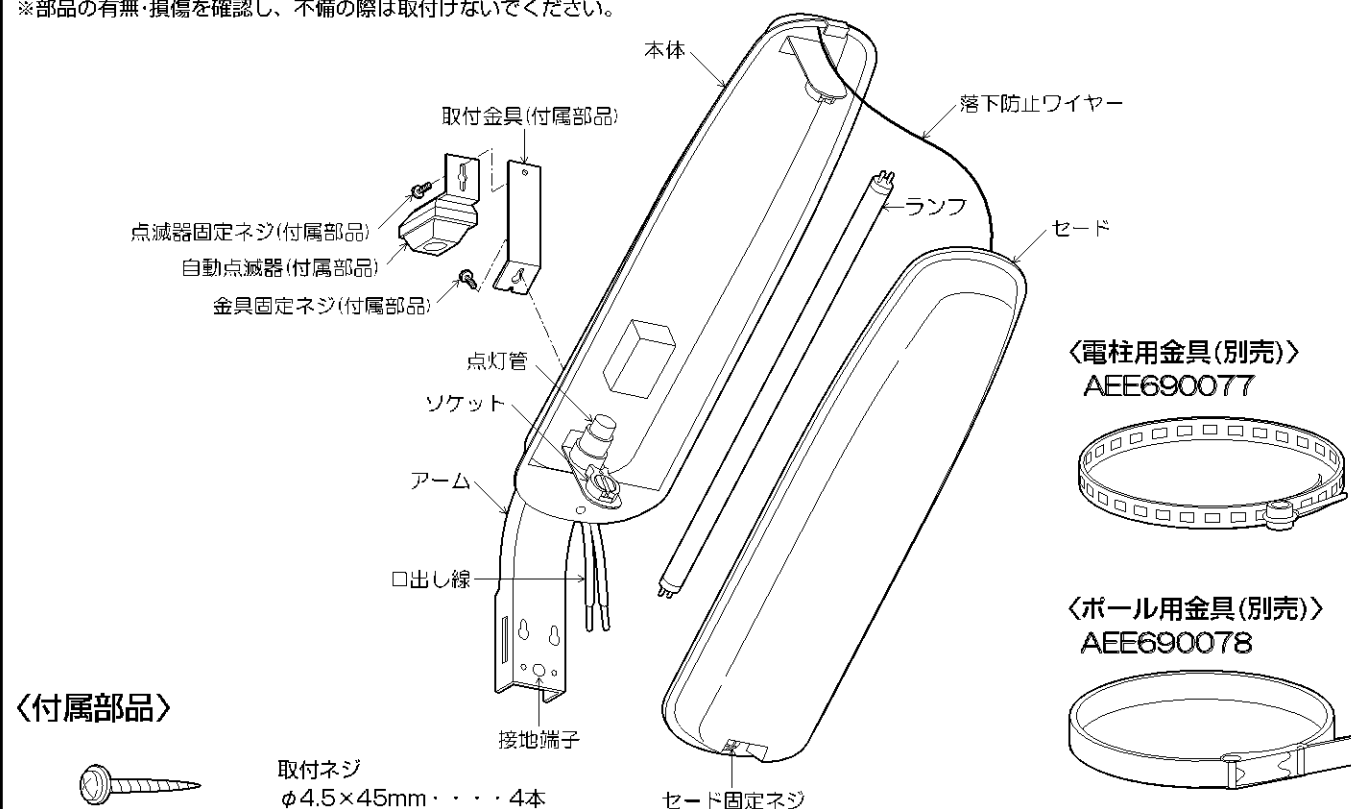
右図は器具を取付面から見た図です。



6 電柱やポールへの取付けには専用金具(別売)を使用する

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

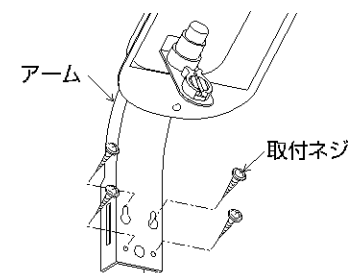


取説No. U106-005 NN/S・T-102

1 本体を取付ける

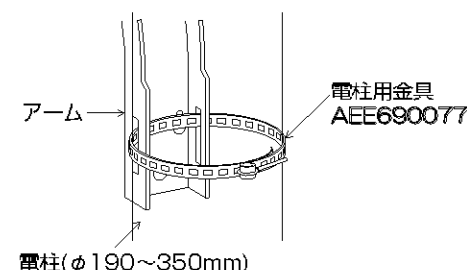
＜壁に取付ける場合＞

アームを取付ネジで取付ける。



＜電柱に取付ける場合＞

アームの取付穴に電柱用金具(別売)を通し、電柱に確実に締め付けて固定する。

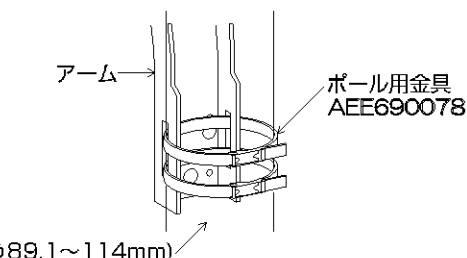


＜ポールに取付ける場合＞

アームの取付穴にポール用金具(別売)を通し、ポールに確実に締め付けて固定する。

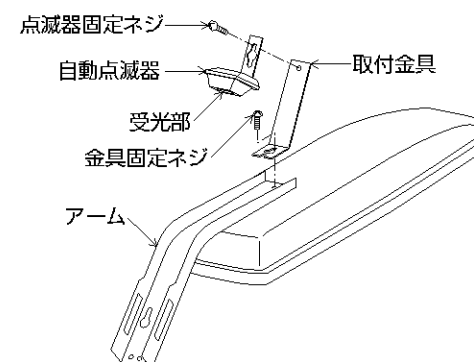
※ポール用金具は必ず2本使用する。

※ポール用金具は斜めにならないように締め付ける。



2 電源線を接続する

取付金具をアームに合わせ、金具固定ネジで取付ける。自動点滅器は受光部(白い部分)を下向きにして取付金具に合わせ、点滅器固定ネジで取付ける。

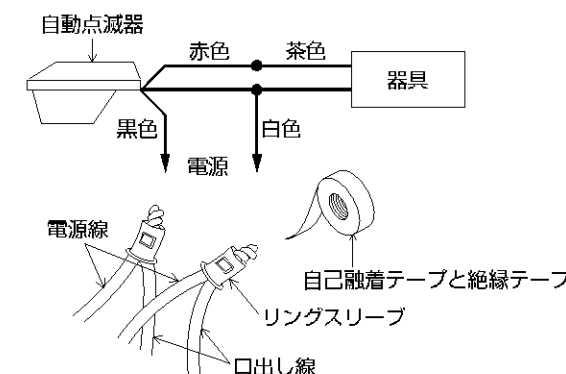


3 電源線を接続する

配置図にしたがって電源線と口出し線を実際に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

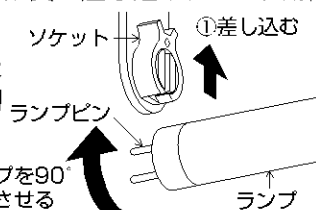
△警告 電源の接続および絶縁を確実に行ってください。接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



4 ランプを取付ける

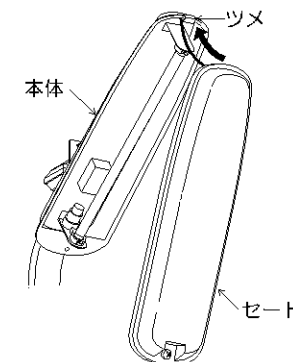
ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

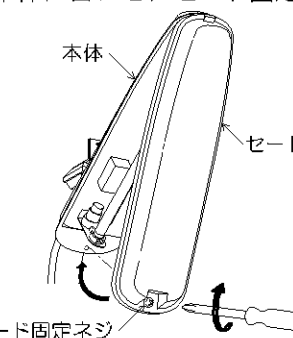


5 セードを取付ける

セードの先端を本体先端のツメに引っ掛ける。



セードを本体に合わせ、セード固定ネジを工具で締め付ける。



6 点灯の確認を行なう

電源を入れて点灯させる。明るい状態では点灯後約2分後に消灯すればテスト完了です。

取説No. U106-005 NN/S・T-102